

# ネットで町内小学校をひとつに

## - 地域教材データベースの構築とその利用 -

兵庫県立教育研修所 情報教育研修課  
IT教育推進研修員 山口博道

### 1 概要

総合的な学習の時間などで実施された地域をテーマにした学習の成果には教材としてすばらしい内容のものが多い。しかし、それらの多くは一つの学校内や個人のなかで埋もれてしまっている。そこで、それを Web 化して一カ所に集め地域教材データベースとして蓄積する。そうすれば学校という枠を越えて、共有され有効に再利用される。さらに地域についての共同学習へも発展する可能性がある。そうすれば、このシステムを中心に町内小学校がひとつになって地域学習が進めらることにもなる。

### 2 実践の目的

- ・ 児童が地域学習の成果としてまとめたり、教師が作成した地域教材の蓄積と二次的共同利用
- ・ 地域についての共同学習や学校間交流、
- ・ 情報リテラシーと情報モラルの向上

### 3 システム環境について

- ・ 西淡町内 7 校の小学校は INS 回線により教育情報ネットワークへダイヤルアップ接続
- ・ サーバ（今年度は兵庫県立教育研修所に設置）・・・Windows2000Server の IIS（インターネットインフォメーションサービス）により Web サイト（図 1）、FTP サイトを稼働。全文検索のため Namazu（フリーの CGI による検索システム）をインストールし（図 2）、Namazu や CGI による掲示板の開設のために ActivePerl をインストールした。
- ・ クライアント（西淡町内小学校のすべての児童機、先生機）・・・ホームページ作成にはワープソフトを使用、FTP でファイル転送用に自作ソフト（図 3）を使用した。



(図 1)



(図 2)

### 4 実践にあたって

西淡町内全小学校で実践するため西淡町の情報教育担当者に協力を依頼した。また、淡路教育事務所、西淡町教育委員会に研究の説明と協力依頼をした。以下にその経過を記す。

- ・ 7月25日 淡路教育事務所、西淡町教育委員会にて趣旨説明と協力依頼
- ・ 9月6日 西淡町情報教育担当者に協力依頼と趣旨の説明  
全7校のうち2校にて研究授業の実施の決定
- ・ 10月29日 研修会  
自作ソフトのインストールとクライアント機の環境設定、ホームページ作成等についての説明と実習
- ・ 11月29日 研究授業「ホームページをサーバに送ろう」、事後研究会（西淡町立志知小学校）
- ・ 11月30日 研究授業「ホームページをサーバに送ろう」（西淡町立丸山小学校）
- ・ 12月6日 研究授業「町内の情報から西淡町について調べよう」（西淡町立志知小学校）
- ・ 12月7日 研究授業「町内の情報から西淡町について調べよう」、事後研究会（西淡町立丸山小学校）

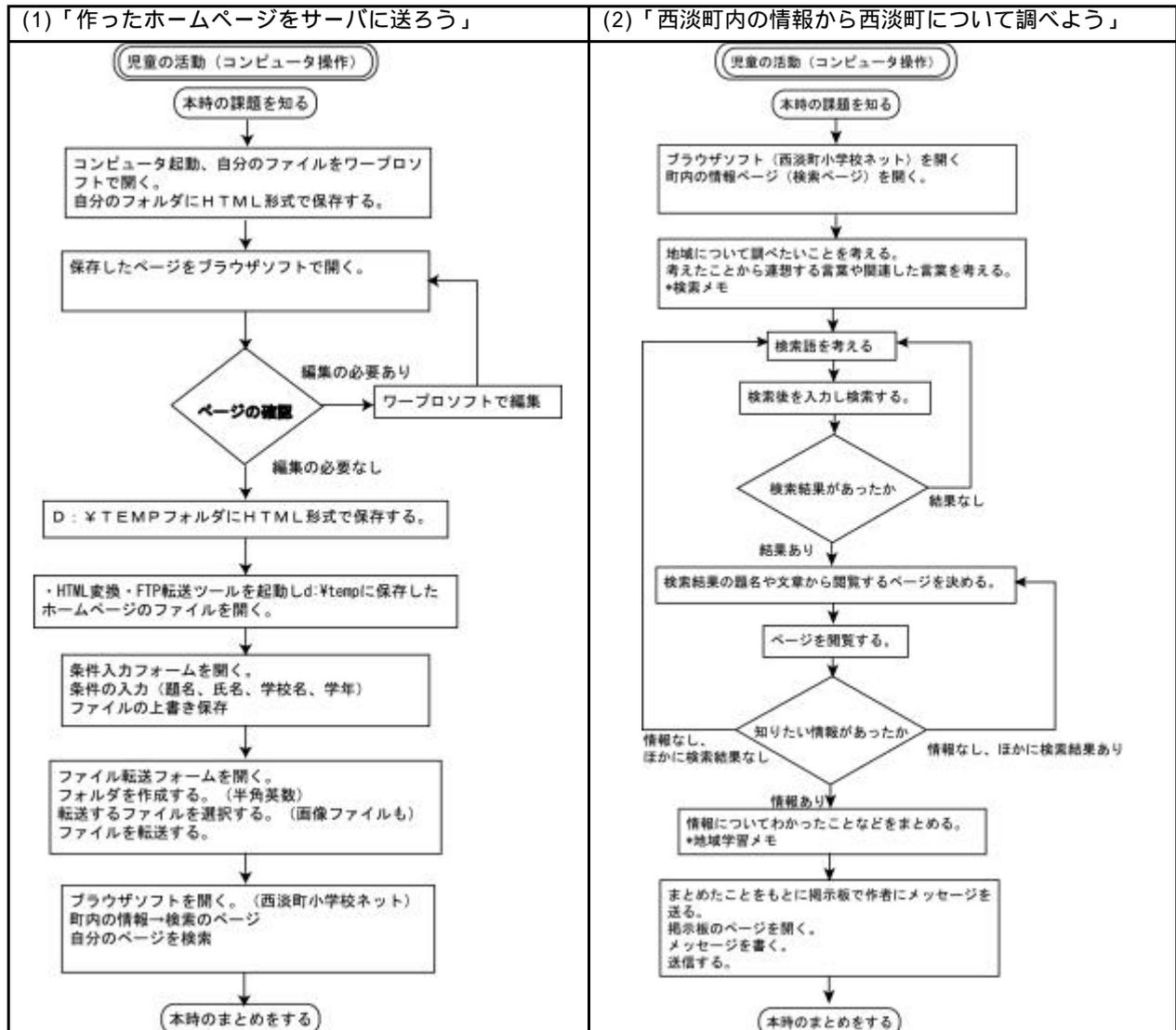
上記以外に、全7校のうち6校に訪問し、環境設定、アップロードソフトのインストール、ホームページ作成についての研修会等を実施した。



(図 3)

5 研究授業について

以下の2つの研究授業を西淡町立志知小学校，丸山小学校にて実施した。(計4回)それを参考に他の5校でも実践する。



6 成果と今後の課題

12月末の時点で、転送されたホームページは62あった。そのうち約60%が「地域の産業や歴史」に関するものであり、その他は、各学校での総合的な学習の時間の実践や行事などであった。サーバへのアクセス数は、多い日で200件にもなり、データベースを使つての学習が頻繁に行われている。また、掲示板での交流も盛んになり、ホームページに関する意見や感想、質問などの書きこみが行われている。さらにそれに対する返信も見られ、活性化してきた。

研究授業で児童からは、「自分が作ったホームページが町内の全小学校から見ることができるようになってよかった。」「ほかの学校の子が作ったホームページを見たい。」という声を聞くことができた。また、実際に他校の児童のホームページを見て、「他の地域のことがよくわかった。」「ホームページを探したり、掲示板にメッセージを送るのがとてもおもしろい。」というような感想が出ていた。町内の情報教育担当者からは、「各学校での地域学習の成果が共有できるのがよい。」「ネットを通して、学校間で交流できるのがよい。」などの意見があった。また、今後に向けては「来年度以降も続けられるようにしてほしい。」や「より多くの情報が共有できるようにしていきたい。」などの意見があり、地域教材の共有と学校間交流という2つの面で効果があったと思われる。

来年度からは、西淡町内にサーバを設置しての実施となるが、サーバのセキュリティや個人情報の保護などの点で検討しなければならない。また、サーバのメンテナンスやより多くの先生方が学校教育のさまざまな場面で活用できるように、自作ツールやシステムの改良やマニュアルの作成、研修体制の確立などの課題がある。